

# ダイワ・スイス 高配当株ツインα (毎月分配型)

## 運用報告書(全体版)

第65期(決算日 2019年7月17日)  
第66期(決算日 2019年8月19日)  
第67期(決算日 2019年9月17日)  
第68期(決算日 2019年10月17日)  
第69期(決算日 2019年11月18日)  
第70期(決算日 2019年12月17日)

(作成対象期間 2019年6月18日～2019年12月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間(2013年12月18日～2023年12月15日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「UBS(CAY)スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、配当利回りの高いスイス株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			スイスSMI指数 (円換算)		スイス・フラン 為替レート		公社債 組入率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
41期末(2017年7月18日)	7,527	110	2.2	11,602	3.3	116.82	2.5	—	98.6	30,325
42期末(2017年8月17日)	7,238	110	△ 2.4	11,314	△ 2.5	113.93	△ 2.5	—	98.5	30,089
43期末(2017年9月19日)	7,272	110	2.0	11,530	1.9	115.98	1.8	—	98.4	31,561
44期末(2017年10月17日)	7,277	110	1.6	11,714	1.6	114.95	△ 0.9	—	98.5	33,855
45期末(2017年11月17日)	7,117	110	△ 0.7	11,431	△ 2.4	113.74	△ 1.1	—	98.2	34,235
46期末(2017年12月18日)	7,139	110	1.9	11,732	2.6	113.65	△ 0.1	—	98.4	34,727
47期末(2018年1月17日)	7,230	110	2.8	11,982	2.1	115.23	1.4	—	98.4	35,831
48期末(2018年2月19日)	6,789	110	△ 4.6	11,316	△ 5.6	114.60	△ 0.5	—	98.9	33,811
49期末(2018年3月19日)	6,513	110	△ 2.4	10,843	△ 4.2	111.10	△ 3.1	—	98.6	33,029
50期末(2018年4月17日)	6,403	110	0.0	10,694	△ 1.4	111.53	0.4	—	98.6	32,857
51期末(2018年5月17日)	6,417	110	1.9	10,868	1.6	110.22	△ 1.2	—	98.6	33,270
52期末(2018年6月18日)	6,274	75	△ 1.1	10,526	△ 3.1	110.85	0.6	—	98.9	32,695
53期末(2018年7月17日)	6,244	75	0.7	10,964	4.2	112.78	1.7	—	99.0	32,380
54期末(2018年8月17日)	6,205	75	0.6	10,989	0.2	111.15	△ 1.4	—	98.7	32,285
55期末(2018年9月18日)	6,326	75	3.2	11,400	3.7	116.10	4.5	—	98.8	32,637
56期末(2018年10月17日)	5,900	75	△ 5.5	10,966	△ 3.8	113.48	△ 2.3	—	99.7	29,862
57期末(2018年11月19日)	5,818	75	△ 0.1	11,035	0.6	112.75	△ 0.6	—	98.8	29,325
58期末(2018年12月17日)	5,731	75	△ 0.2	10,887	△ 1.3	113.71	0.9	—	98.7	28,716
59期末(2019年1月17日)	5,541	75	△ 2.0	10,727	△ 1.5	110.02	△ 3.2	—	98.9	27,699
60期末(2019年2月18日)	5,551	75	1.5	11,183	4.2	110.12	0.1	—	98.2	27,534
61期末(2019年3月18日)	5,667	40	2.8	11,599	3.7	111.32	1.1	—	98.7	27,758
62期末(2019年4月17日)	5,762	40	2.4	11,707	0.9	111.22	△ 0.1	—	98.4	26,690
63期末(2019年5月17日)	5,575	40	△ 2.6	11,554	△ 1.3	108.85	△ 2.1	—	98.8	25,311
64期末(2019年6月17日)	5,630	40	1.7	11,769	1.9	108.77	△ 0.1	—	98.9	24,482
65期末(2019年7月17日)	5,649	40	1.0	11,863	0.8	109.61	0.8	—	99.1	23,479
66期末(2019年8月19日)	5,471	40	△ 2.4	11,616	△ 2.1	108.67	△ 0.9	—	98.6	22,222
67期末(2019年9月17日)	5,674	40	4.4	11,946	2.8	109.06	0.4	—	98.7	22,344
68期末(2019年10月17日)	5,671	40	0.7	12,065	1.0	109.45	0.4	—	98.2	21,404
69期末(2019年11月18日)	5,759	40	2.3	12,460	3.3	109.99	0.5	—	99.1	20,790
70期末(2019年12月17日)	5,886	40	2.9	12,903	3.6	111.40	1.3	—	98.8	20,646

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) スイスSMI指数(円換算)は、スイスSMI指数(スイス・フランベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

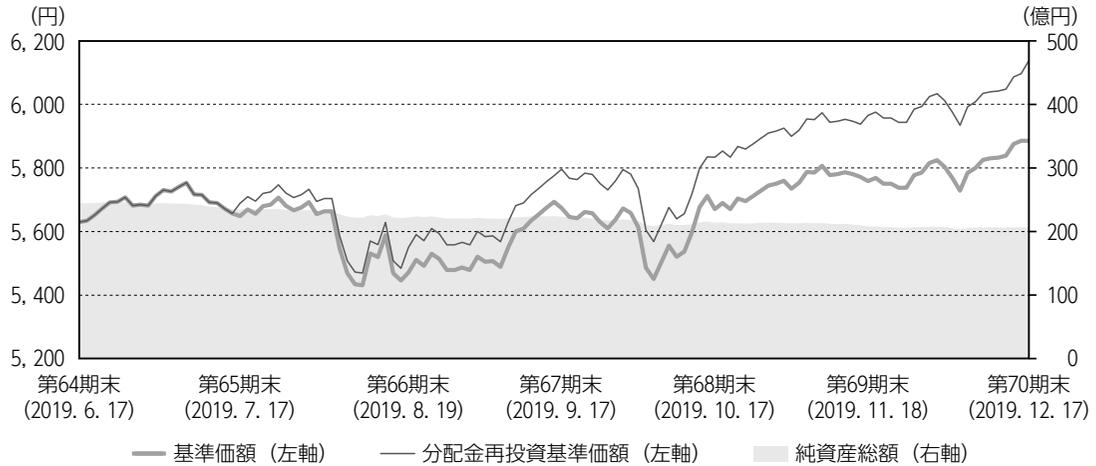
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第65期首：5,630円

第70期末：5,886円（既払分配金240円）

騰落率：9.0%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドの上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドについては、スイス株式への投資と株価指数および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株式が上昇したことやスイス・フランが対円で上昇したことがプラスに寄与し、上昇しました。一方、オプション取引については、株価指数オプションがマイナス要因に、通貨のオプションが若干ながらプラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		スイスSMI指数 (円換算)		スイス・フラン 為 替 レ ー ト		公 社 債 組 入 率 比	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
第65期	(期首) 2019年6月17日	円	%			円	%	%	%
	6月末	5,630	—	11,769	—	108.77	—	—	98.9
	(期末) 2019年7月17日	5,682	0.9	11,966	1.7	110.45	1.5	—	98.9
第66期	(期首) 2019年7月17日	5,689	1.0	11,863	0.8	109.61	0.8	—	99.1
	7月末	5,649	—	11,863	—	109.61	—	—	99.1
	(期末) 2019年8月19日	5,655	0.1	11,925	0.5	109.73	0.1	—	98.9
第67期	(期首) 2019年8月19日	5,511	△ 2.4	11,616	△ 2.1	108.67	△ 0.9	—	98.6
	8月末	5,471	—	11,616	—	108.67	—	—	98.6
	(期末) 2019年9月17日	5,521	0.9	11,661	0.4	107.87	△ 0.7	—	98.3
第68期	(期首) 2019年9月17日	5,714	4.4	11,946	2.8	109.06	0.4	—	98.7
	9月末	5,674	—	11,946	—	109.06	—	—	98.7
	(期末) 2019年10月17日	5,673	△ 0.0	12,009	0.5	108.88	△ 0.2	—	99.1
第69期	(期首) 2019年10月17日	5,711	0.7	12,065	1.0	109.45	0.4	—	98.2
	10月末	5,671	—	12,065	—	109.45	—	—	98.2
	(期末) 2019年11月18日	5,760	1.6	12,415	2.9	110.18	0.7	—	98.0
第70期	(期首) 2019年11月18日	5,799	2.3	12,460	3.3	109.99	0.5	—	99.1
	11月末	5,759	—	12,460	—	109.99	—	—	99.1
	(期末) 2019年12月17日	5,825	1.1	12,689	1.8	109.68	△ 0.3	—	98.3
		5,926	2.9	12,903	3.6	111.40	1.3	—	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

（2019. 6. 18～2019. 12. 17）

**■ スイス株式市況**

スイス株式市場は上昇しました。

当作成期の序盤は、2019年6月末に開催された米中首脳会談での貿易摩擦の緩和期待の一方で、中東情勢をめぐる地政学リスクなどを背景に、スイス株式市場は方向感の乏しい動きとなりました。8月前半には、通商問題をめぐる米中対立の激化を受けてリスク回避の動きが急速に強まり、スイス株式市場は一時的に下落しました。しかし8月半ば以降は、米中通商協議の進展期待や、10月末を期限としていた英国のEU（欧州連合）離脱問題において、合意なきEU離脱がいったん回避されるとの観測が広がったことや、世界の主要中央銀行による緩和的な金融政策などを支えに、スイス株式市場はおおむね上昇基調で推移しました。12月に入り、スイス株式市場は弱含む局面もありましたが、12月中旬に実施された英国総選挙で、ジョンソン首相率いる与党保守党の圧勝を受けEU離脱へ向けて一歩前進したとみられたことや、米中通商協議における「第1段階」の合意報道などが市場で好感され、スイス株式市場も堅調さを維持した結果、当作成期首を上回る水準で当作成期末を迎えました。

**■ スイス株価指数オプション市況**

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は上昇しました。

当作成期の序盤は、ホルムズ海峡付近で発生したタンカー攻撃で、中東情勢の緊迫化によるリスク回避姿勢の強まりなどを受けて、インプライド・ボラティリティは一時的に上昇しましたが、間もなく落ち着きを取り戻し低下に向かいました。2019年8月前半は、米中通商協議をめぐる両国の対立激化懸念のほか、米国債券市場で景気後退の前兆とされる逆イールド（長短金利の逆転）が発生すると、世界経済の減速懸念によるリスク回避の動きから、インプライド・ボラティリティは再び上昇しました。8月後半以降は、スイス株式市場がおおむね堅調に推移する中で、インプライド・ボラティリティは比較的狭いレンジ内の動きとなりました。その後は、11月のISM（全米供給管理協会）製造業景況感指数の悪化を受け、インプライド・ボラティリティはやや上昇した結果、当作成期首比で上昇して当作成期末を迎えました。

**■ 為替相場**

スイス・フランの対円為替レートは上昇しました。

当作成期の序盤は、主要中央銀行の利下げ観測が市場で織り込まれる中、日銀の黒田総裁が金融政策決定会合で世界経済の下振れリスクに触れ、追加緩和の可能性に含みを持たせた発言をしたことなどをを受けて円安が進み、スイス・フランは対円で上昇して始まりました。しかし、スイス中央

## ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

銀行による為替市場介入の観測などから、スイス・フランは間もなく下落に転じました。2019年8月に入り、米中貿易摩擦の激化懸念などを受けて市場でリスク回避の円買いの動きが生じ、スイス・フランは円に対し下落基調で推移しました。当作成期の半ばには、英国下院で合意なきEU（欧州連合）離脱を阻止するための法案が可決され警戒感が幾分和らいだことなどを背景に、スイス・フランは対円で上昇に転じました。しかし10月上旬は、スイスのCPI（消費者物価指数）が前月比で予想外のマイナスとなったことや欧州景気の弱含みなどが重しとなり、スイス・フランは再び失速しました。10月中旬以降は、米中通商協議の進展期待や英国の合意なきEU離脱懸念が後退するとの期待感などから、スイス・フランは当作成期末にかけておおむね上昇基調で推移し、当作成期首比でスイス・フラン高の水準で当作成期末を迎えました。

### ■ スイス・フラン／円為替オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティは低下しました。

当作成期の序盤は、インプライド・ボラティリティはおおむね安定した動きで始まりましたが、2019年8月に入り米中対立の激化を受けたリスク回避の動きなどから円高が進行すると、インプライド・ボラティリティは上昇しました。当作成期の後半に入ると、米中通商協議への進展期待のほか、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱が回避されるとの観測の広がりなどを背景に、市場で過度なリスク回避姿勢が和らぎ、スイス・フランが対円で上昇する中でインプライド・ボラティリティは落ち着きを取り戻しました。当作成期末にかけても低下基調を維持し、当作成期首比で低下して当作成期末を迎えました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

引き続き、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態では、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

米国経済は、トランプ政権の政策運営が引き続き相場の波乱要因になるとみています。通商政策が最大の鍵を握る状況に変わりはないと思われるものの、おおむね底堅い内需が米国経済を支えていると考えます。欧州経済は、ユーロ圏の製造業PMI（購買担当者景気指数）が高水準で推移し

た2018年と比較して、2019年は緩やかな成長にとどまると考えられます。EU（欧州連合）離脱の道筋やプロセスの定まらない英国では、政治的な不透明感が一段と強まっていることから、企業景況感に及ぼす影響を引き続き注視しています。

スイス経済は、おおむね底堅さを維持しています。スイス・フランの動向はスイスの企業収益の追い風となるものと思われ、今後もおおむね堅調な業績が見込まれます。また、企業景況感の改善や潤沢な手元資金を背景に、M&A（企業の合併・買収）の動きは継続すると予想されます。バリュエーション、企業業績、配当成長の観点から、引き続きスイス株式市場の投資魅力度は高いと考えます。今後、市場の悪材料に反応し短期的に調整する局面も想定されるものの、銘柄間のバリュエーション格差が依然として大きいことから、そうした調整局面は、長期的には魅力的な銘柄を組み入れる好機になると捉えています。引き続き、企業価値が株価に十分に反映されていない銘柄などに注目しながら、投資妙味の高い銘柄の組み入れに焦点を当てていく方針です。

#### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2019. 6. 18 ~ 2019. 12. 17)

### ■当ファンド

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資しました。UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

### ■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

業種構成は、当ファンドの現物株式ポートフォリオのベンチマークであるS P I（スイス・パフォーマンス指数）に対して、金融などをオーバーウエートで推移させた一方で、不動産などをアンダーウエートで推移させました。個別銘柄では、Zurich InsuranceやABB、Cembra Money Bankなどをオーバーウエートで推移させた一方で、NestleやNovartisなどをアンダーウエートで推移させました。

スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）の確保をめざしました。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプション（買う権利）の売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行いました。

## ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざしました。

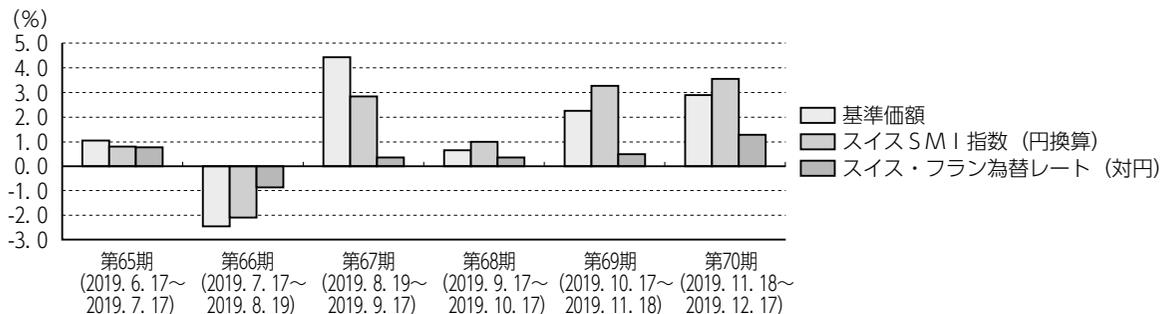
### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	2019年6月18日 ～2019年7月17日	2019年7月18日 ～2019年8月19日	2019年8月20日 ～2019年9月17日	2019年9月18日 ～2019年10月17日	2019年10月18日 ～2019年11月18日	2019年11月19日 ～2019年12月17日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.70	0.73	0.70	0.70	0.69	0.67
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	326	330	338	348	359	364

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 102.33円	✓ 44.35円	✓ 48.16円	✓ 49.68円	✓ 51.16円	✓ 44.83円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	145.71	146.18	146.59	146.97	147.58	147.85
(d) 分配準備積立金	118.25	180.14	184.09	191.88	201.00	211.90
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	366.30	370.68	378.85	388.53	399.75	404.59
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	326.30	330.68	338.85	348.53	359.75	364.59

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態では、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

米国では、トランプ政権の政策運営が引き続き相場の波乱要因になるとみています。米中間で「第1段階の合意」には至ったものの、問題の本質がすでに情報技術や知的財産を含めた覇権争いへ変化している以上、対立は長期化すると思われる。それでも、通商交渉が始まって以来、初めて関税が引き下げられることで企業マインドの改善が期待できるほか、FRB（米国連邦準備制度理事会）の緩和的な金融姿勢も米国経済を下支えすると考えています。一方、欧州経済は緩やかな成長にとどまると見られます。英国では、2019年12月に行われた下院総選挙で離脱派が勝利したものの、企業景況感に及ぼす影響を引き続き注視しています。また、中国の景気減速も、ドイツを筆頭に経済的な結びつきの深い欧州へ着実に波及しています。

スイス経済については、個人消費は底堅さを維持しています。世界各国の政治リスクの低下で企業景況感の一段の改善が期待できることに加えて、潤沢な手元資金を背景に、M&A（企業の合併・買収）の動きは継続すると予想されます。また、相対的な割安度や国債対比で見た配当利回りの高さ、また増配余力や業績面の安定性から、スイス株式の魅力度は依然として高いとみています。米国の大統領選挙を控え、米中通商交渉はいったん「水入り」（休戦）となる可能性が高く、2019年よりも2020年の相場環境は落ち着くものと予想しています。とはいえ、トランプ大統領の不規則な発言や金融緩和の終焉観測の台頭など、何らかのきっかけで株価が調整する局面も想定されます。しかしながら、銘柄間のバリュエーション格差が依然として大きいことから、そうした調整局面は、長期投資の観点からは魅力度の高い銘柄を組み入れる好機と捉えています。引き続き、企業の本源的価値が株価に十分に反映されておらず、投資妙味の高い銘柄に焦点を当てていく方針です。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第65期～第70期 (2019. 6. 18～2019. 12. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	38円	0. 665%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5, 666円です。
（投信会社）	(12)	(0. 217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(25)	(0. 435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	38	0. 669	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

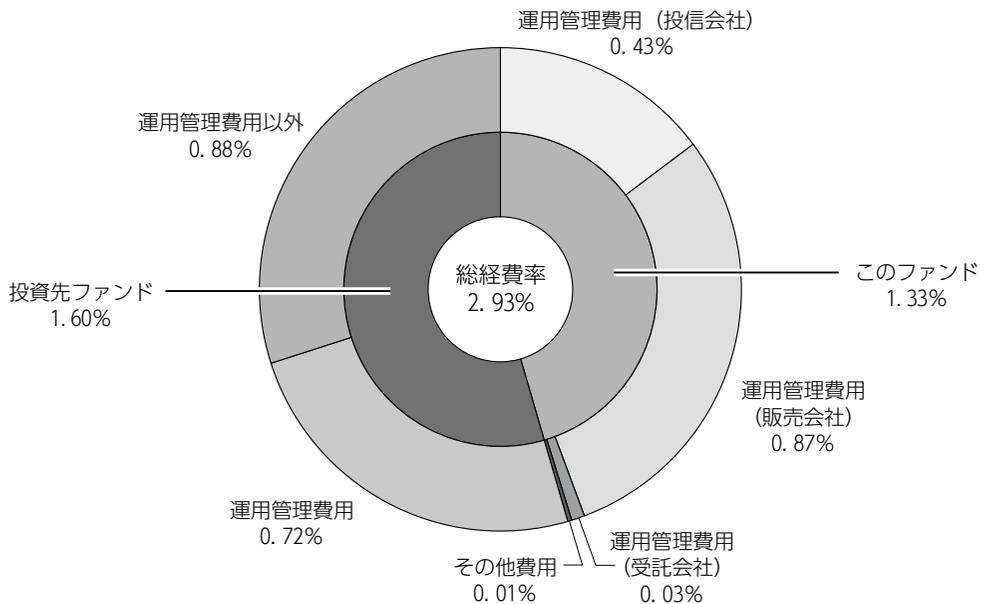
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.93%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.93%
①このファンドの費用の比率	1.33%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.72%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.88%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2019年6月18日から2019年12月17日まで)

決算期	第 65 期 ～ 第 70 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	26,042.5003	1,449,041	103,226.54933	5,810,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年6月18日から2019年12月17日まで)

第 65 期 ～ 第 70 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				UBS (CAY) SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND (ケイマン諸島)	103,226.54933	5,810,000	56

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 70 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) UBS (CAY) SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND	350,045.11327	20,397,478	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第64期末	第 70 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,996	2,996	2,993

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月17日現在

項 目	第 70 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	20,397,478	97.2
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,993	0.0
コール・ローン等、その他	590,779	2.8
投資信託財産総額	20,991,252	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年7月17日)、(2019年8月19日)、(2019年9月17日)、(2019年10月17日)、(2019年11月18日)、(2019年12月17日) 現在

項 目	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末
<b>(A) 資産</b>	<b>23,879,385,694円</b>	<b>22,433,551,703円</b>	<b>22,695,193,819円</b>	<b>21,627,368,087円</b>	<b>21,308,770,655円</b>	<b>20,991,252,243円</b>
コール・ローン等	609,082,424	530,330,768	633,084,030	595,607,422	699,611,601	590,779,739
投資信託受益証券（評価額）	23,267,308,663	21,900,226,627	22,059,115,781	21,028,766,657	20,606,165,345	20,397,478,795
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	2,994,607	2,994,308	2,994,008	2,994,008	2,993,709	2,993,709
<b>(B) 負債</b>	<b>399,444,178</b>	<b>211,146,939</b>	<b>350,797,860</b>	<b>222,936,369</b>	<b>518,586,848</b>	<b>345,153,880</b>
未払収益分配金	166,273,391	162,484,346	157,527,283	150,975,801	144,397,853	140,302,020
未払解約金	206,646,306	20,928,707	169,474,548	47,666,162	348,326,606	181,862,809
未払信託報酬	26,355,349	27,398,714	23,314,850	23,667,798	25,080,703	22,073,776
その他未払費用	169,132	335,172	481,179	626,608	781,686	915,275
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>23,479,941,516</b>	<b>22,222,404,764</b>	<b>22,344,395,959</b>	<b>21,404,431,718</b>	<b>20,790,183,807</b>	<b>20,646,098,363</b>
元本	41,568,347,867	40,621,086,713	39,381,820,962	37,743,950,261	36,099,463,268	35,075,505,181
次期繰越損益金	△ 18,088,406,351	△ 18,398,681,949	△ 17,037,425,003	△ 16,339,518,543	△ 15,309,279,461	△ 14,429,406,818
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>41,568,347,867口</b>	<b>40,621,086,713口</b>	<b>39,381,820,962口</b>	<b>37,743,950,261口</b>	<b>36,099,463,268口</b>	<b>35,075,505,181口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	5,649円	5,471円	5,674円	5,671円	5,759円	5,886円

\* 第64期末における元本額は43,482,749,866円、当作成期間（第65期～第70期）中における追加設定元本額は492,147,353円、同解約元本額は8,899,392,038円です。

\* 第70期末の計算口数当りの純資産額は5,886円です。

\* 第70期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は14,429,406,818円です。

## ■損益の状況

第65期 自2019年6月18日 至2019年7月17日      第67期 自2019年8月20日 至2019年9月17日      第69期 自2019年10月18日 至2019年11月18日  
 第66期 自2019年7月18日 至2019年8月19日      第68期 自2019年9月18日 至2019年10月17日      第70期 自2019年11月19日 至2019年12月17日

項 目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>451,914,713円</b>	<b>207,737,164円</b>	<b>194,332,050円</b>	<b>211,329,395円</b>	<b>194,800,061円</b>	<b>163,204,612円</b>
受取配当金	451,929,384	207,753,030	194,347,144	211,346,583	194,814,397	163,215,223
受取利息	133	85	63	171	103	189
支払利息	△ 14,804	△ 15,951	△ 15,157	△ 17,359	△ 14,439	△ 10,800
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 183,710,508</b>	<b>△ 739,851,787</b>	<b>786,459,565</b>	<b>△ 47,186,215</b>	<b>292,583,177</b>	<b>444,937,989</b>
売買益	7,232,907	8,952,578	792,105,416	14,658,853	298,426,890	446,226,944
売買損	△ 190,943,415	△ 748,804,365	△ 5,645,851	△ 61,845,068	△ 5,843,713	△ 1,288,955
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 26,524,481</b>	<b>△ 27,569,553</b>	<b>△ 23,460,857</b>	<b>△ 23,813,861</b>	<b>△ 25,235,781</b>	<b>△ 22,208,907</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>241,679,724</b>	<b>△ 559,684,176</b>	<b>957,330,758</b>	<b>140,329,319</b>	<b>462,147,457</b>	<b>585,933,694</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 9,441,018,866</b>	<b>△ 9,129,844,947</b>	<b>△ 9,530,394,548</b>	<b>△ 8,351,166,288</b>	<b>△ 7,975,229,453</b>	<b>△ 7,431,186,156</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 8,722,793,818</b>	<b>△ 8,546,668,480</b>	<b>△ 8,306,833,930</b>	<b>△ 7,977,705,773</b>	<b>△ 7,651,799,612</b>	<b>△ 7,443,852,336</b>
（配当等相当額）	( 605,732,565)	( 593,822,376)	( 577,333,082)	( 554,747,616)	( 532,785,703)	( 518,612,510)
（売買損益相当額）	(△ 9,328,526,383)	(△ 9,140,490,856)	(△ 8,884,167,012)	(△ 8,532,453,389)	(△ 8,184,585,315)	(△ 7,962,464,846)
<b>(G) 合計（D+E+F）</b>	<b>△ 17,922,132,960</b>	<b>△ 18,236,197,603</b>	<b>△ 16,879,897,720</b>	<b>△ 16,188,542,742</b>	<b>△ 15,164,881,608</b>	<b>△ 14,289,104,798</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 166,273,391</b>	<b>△ 162,484,346</b>	<b>△ 157,527,283</b>	<b>△ 150,975,801</b>	<b>△ 144,397,853</b>	<b>△ 140,302,020</b>
<b>次期繰越損益金（G+H）</b>	<b>△ 18,088,406,351</b>	<b>△ 18,398,681,949</b>	<b>△ 17,037,425,003</b>	<b>△ 16,339,518,543</b>	<b>△ 15,309,279,461</b>	<b>△ 14,429,406,818</b>
追加信託差損益金	△ 8,722,793,818	△ 8,546,668,480	△ 8,306,833,930	△ 7,977,705,773	△ 7,651,799,612	△ 7,443,852,336
（配当等相当額）	( 605,732,565)	( 593,822,376)	( 577,333,082)	( 554,747,616)	( 532,785,703)	( 518,612,510)
（売買損益相当額）	(△ 9,328,526,383)	(△ 9,140,490,856)	(△ 8,884,167,012)	(△ 8,532,453,389)	(△ 8,184,585,315)	(△ 7,962,464,846)
分配準備積立金	750,663,495	749,449,543	757,140,755	760,775,578	765,918,733	760,225,938
繰越損益金	△ 10,116,276,028	△ 10,601,463,012	△ 9,487,731,828	△ 9,122,588,348	△ 8,423,398,582	△ 7,745,780,420

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
(a) 経費控除後の配当等収益	425,390,057円	180,167,408円	189,684,269円	187,515,381円	184,713,183円	157,243,640円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	605,732,565	593,822,376	577,333,082	554,747,616	532,785,703	518,612,510
(d) 分配準備積立金	491,546,829	731,766,481	724,983,769	724,235,998	725,603,403	743,284,318
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,522,669,451	1,505,756,265	1,492,001,120	1,466,498,995	1,443,102,289	1,419,140,468
(f) 分配金	166,273,391	162,484,346	157,527,283	150,975,801	144,397,853	140,302,020
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,356,396,060	1,343,271,919	1,334,473,837	1,315,523,194	1,298,704,436	1,278,838,448
(h) 受益権総口数	41,568,347,867口	40,621,086,713口	39,381,820,962口	37,743,950,261口	36,099,463,268口	35,075,505,181口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・  
ツイン・アルファ・ファンド

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2019年12月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

財政状態計算書

2018年11月30日

資産

流動資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥	29,320,167,904
現金および現金同等物		854,045,018
担保としてブローカーが保有する現金		16,589,081
未収：		
売却済み証券		5,989,753
資産合計		<u>30,196,791,756</u>

負債

流動負債

金融負債（損益通算後の評価額）		493,672,789
保管会社に対する支払		789,160
未払：		
運用会社報酬		124,421,865
専門家報酬		5,667,598
管理会社報酬		5,233,307
保管会社報酬		2,118,362
名義書換代理人報酬		832,346
受託会社報酬		747,609
その他負債		10,111
負債（償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		<u>633,493,147</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	¥	<u>29,563,298,609</u>

包括利益計算書

2018年11月30日に終了した年度

**収益**

受取利息、配当収益、金融資産および負債の純実現損益・  
評価損益の純変動（損益通算および外国為替取引による評価額）

¥ 166,795,170

**費用**

運用会社報酬	194,912,098
管理会社報酬	22,739,738
支払利息	11,507,474
取引費用	10,148,270
保管会社報酬	7,014,571
専門家報酬	5,466,872
名義書換代理人報酬	3,623,181
受託会社報酬	3,248,526
登録料	21,044
その他費用	9,871
費用合計	<u>258,691,645</u>

**営業損益**

(91,896,475)

**金融費用**

償却可能受益証券の保有者への分配

(4,329,043,487)

**分配後および税引前損益**

(4,420,939,962)

源泉徴収税

(278,526,478)

**運用の結果生じた償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増減額**

¥ (4,699,466,440)

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

投資明細  
2018年11月30日

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合 (%)	評価額
	普通株 (99.2%)		
	アイルランド (0.9%)		
	医薬品 (0.9%)		
22,249	COSMO Pharmaceuticals NV	0.9	¥ 261,649,752
	アイルランド合計		261,649,752
	スイス (98.3%)		
	広告 (1.9%)		
71,368	DKSH Holding AG	1.9	548,175,604
	銀行 (10.9%)		
8,062	Banque Cantonale Vaudoise	2.4	698,019,004
1,319,470	UBS Group AG*	6.8	2,023,214,323
39,080	Valiant Holding AG	1.7	490,222,353
			3,211,455,680
	化学 (8.5%)		
24,326	Daetwyler Holding AG	1.3	387,514,714
8,421	EMS-Chemie Holding AG	1.8	513,337,363
5,729	Givaudan SA	5.4	1,601,339,479
			2,502,191,556
	商業サービス (3.9%)		
4,340	SGS SA	3.9	1,166,739,635
	総合金融サービス (4.3%)		
95,600	Cembra Money Bank AG	3.0	904,298,095
41,982	GAM Holding AG	0.1	25,043,320
54,040	Vontobel Holding AG	1.2	352,756,362
			1,282,097,777
	電子部品 (0.7%)		
22,365	Burkhalter Holding AG	0.7	201,262,826
	食品 (9.8%)		
300,210	Nestle SA	9.8	2,904,211,775
	ヘルスケア製品 (5.1%)		
35,767	Lonza Group AG	4.4	1,312,260,454
11,144	Sonova Holding AG	0.7	204,305,263
			1,516,565,717
	保険 (12.1%)		
22,132	Swiss Life Holding AG	3.3	985,519,919
7,872	Swiss Re AG	0.3	81,627,225
70,090	Zurich Insurance Group AG	8.5	2,496,681,175
			3,563,828,319

ダイワ・スイス高配当株ツインα (毎月分配型)

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合 (%)	評価額
	<b>建設・採掘機械 (5.2%)</b>		
666,381	ABB, Ltd.	5.2	1,530,235,951
	<b>金属製品 (2.8%)</b>		
38,515	SFS Group AG	1.5	423,837,138
33,404	VAT Group AG	1.3	393,212,859
			817,049,997
	<b>医薬品 (20.4%)</b>		
27,175	Idorsia, Ltd.	0.2	58,635,954
287,627	Novartis AG	10.1	2,972,689,743
101,509	Roche Holding AG	10.1	2,988,418,690
			6,019,744,387
	<b>不動産 (0.4%)</b>		
19,506	Investis Holding SA	0.4	131,650,995
	<b>小売 (5.5%)</b>		
166,753	Cie Financiere Richemont SA	4.2	1,230,046,837
75,304	Galenica AG	1.3	397,184,840
			1,627,231,677
	<b>通信 (4.4%)</b>		
146,600	Ascom Holding AG	0.8	242,529,643
19,632	Swisscom AG	3.6	1,069,156,931
			1,311,686,574
	<b>運輸 (2.4%)</b>		
45,374	Kuehne + Nagel International AG	2.4	724,357,352
	<b>スイス合計</b>		29,058,485,822
	<b>普通株合計 (簿価 ¥27,548,223,646)</b>		¥ 29,320,135,574

2018年11月30日現在のファンドレベルの外国為替先渡契約残高 (純資産額の0.0%)

買い	取引相手	契約額	決済日	売り	契約額	評価益	評価 (損)	純評価益 (損)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	28,928	12/07/2018	CHF	28,743	¥ 32,330	¥ (14,311)	¥ 18,019

2018年11月30日時点の売建オプション残高 (純資産の-1.7%)

明細	行使価格	満期日	契約数	プレミアム	評価額
Call - OTC Swiss Franc versus Japanese Yen	¥ 113	12/21/2018	124,000,000	¥ (126,910,629)	¥ (175,553,385)
Call - SMI Index Option	8,907	12/21/2018	14,000	(240,748,058)	(318,105,093)
				¥ (367,658,687)	¥ (493,658,478)

\* 利害関係人

## ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツイン $\alpha$ （毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第70期の決算日（2019年12月17日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年6月18日～2019年12月17日における主要な売買銘柄はありません。

### ■組入資産明細表

2019年12月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

## 運用報告書 第8期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

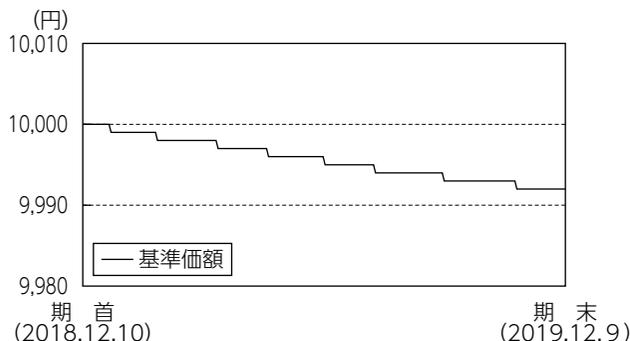
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
	10,000	-	-
12月末	10,000	0.0	-
2019年1月1月末	9,999	△0.0	-
2月末	9,998	△0.0	-
3月末	9,997	△0.0	-
4月末	9,997	△0.0	-
5月末	9,996	△0.0	-
6月末	9,995	△0.1	-
7月末	9,994	△0.1	-
8月末	9,994	△0.1	-
9月末	9,993	△0.1	-
10月末	9,993	△0.1	-
11月末	9,992	△0.1	-
(期末)2019年12月9日	9,992	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,000円 期末：9,992円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	2 (2)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	40,000	(40,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		当 期			
		買 付	売 付		
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
801	国庫短期証券 2019/3/18	千円 40,000			千円

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	7,324,100	100.0
投資信託財産総額	7,324,100	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,324,100,953円
コール・ローン等	7,324,100,953
(B) 負債	44,082
その他未払費用	44,082
(C) 純資産総額(A - B)	7,324,056,871
元本	7,329,994,437
次期繰越損益金	△ 5,937,566
(D) 受益権総口数	7,329,994,437口
1万口当り基準価額(C/D)	9,992円

\* 期首における元本額は9,018,625,641円、当作成期間中における追加設定元本額は4,065,530,242円、同解約元本額は5,754,161,446円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり)999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし)999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αフットロプレミアム(毎月分配型)219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αフットロプレミアム(年2回決算型)24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(毎月分配型)848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(年2回決算型)66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり)6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし)10,288,683円、ダイワ/バリュース・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド10,000円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型)4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型)4,995円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型)－スーパー・ハイインカム－ α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型)－スーパー・ハイインカム－ α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ118,909,472円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver6－ 1,052,878,511円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver7－ 1,327,444,782円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver4－ 858,767,992円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver5－ 3,405,863,412円、ダイワ円債セレクト マネーコース504,712,528円、ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型)2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)為替ヘッジなしコース1,490,665円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)日本円コース497,633円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)ブラジル・レアル・コース994,307円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)通貨セレクト・コース397,742円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型)為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型)為替ヘッジなし100,789円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型)1,235円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(毎月分配型)1,598円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース(毎月分配型)1,544円、通貨選択型ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース(毎月分配型)1,984円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,992円です。  
\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,937,566円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△4,832,170円
受取利息	2,318
その他収益金	4
支払利息	△4,834,492
(B) その他費用	△1,752,564
(C) 当期損益金(A + B)	△6,584,734
(D) 前期繰越損益金	119,826
(E) 解約差損益金	2,559,971
(F) 追加信託差損益金	△2,032,629
(G) 合計(C + D + E + F)	△5,937,566
次期繰越損益金(G)	△5,937,566

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。